

学校法人 河原学園 未来高等学校 R7年度年間指導計画

教科	数学	科目	数学B	学年	3年次	単位数	2単位
教科書	東京書籍	数学B	Essence	副教材	なし		
レポート 添削指導	6通	スクーリング 面接指導	2回	メディア 視聴票	0通	試験	2回
指導 目標	数列及び統計的な推測について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用しようとする態度を育てる。						
No	日付	レポート 提出日	単元	学習内容	面接 回数	メディア利用なし	
1	4月12日	5月22日	1章 数列 1節 数列	・数列の概念および数列についての基本的な用語の意味を理解する。 ・等差数列について関心を深め、一般項 an を初項 a 、公差 d を使って表せることを理解する。 ・等比数列について関心を深め、一般項 an を初項 a 、公差 r を使って表せることを理解する。	1		
2	5月22日	6月19日	2節 いろいろな数列	・記号 Σ の意味と性質を理解し、それを使った計算方法について理解を深める。 ・階差数列から一般項を求めたり、数列の和から一般項を求めたりする方法を理解する。			
3	6月19日	7月17日	3節 漸化式と 数学的帰納法	・漸化式について理解し、それをもとに数列の一般項を求める。 ・数学的帰納法について理解し、それによる証明の方法について学ぶ。			
4	7月17日	10月29日	2章 統計的な推測 1節 確率分布	・標本調査に関する基本的な用語や知識を身に付ける。 ・確率変数の平均・分散・標準偏差について、その求め方を学ぶ。	1		
5	10月29日	11月27日	1章 確率分布	・二項分布に関する基本的な知識を身に付け、平均・分散・標準偏差の求め方を確認する。 ・正規分布に従う確率変数を標準化して確率を求める。			
6	11月27日	1月23日	2章 統計的な推測	・母平均の区間推定の方法を理解し、母平均に対する信頼区間を求める。 ・正規分布を用いた仮説検定の方法を理解し、主張の妥当性について、仮説検定の考え方に基づいて批判的に考察する。			
学習の成果に係る評価規準							
【知識・技能】 ・数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活との関わりについて認識を深めている。							
【思考力・判断力・表現力】 ・日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。							
【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。							
○上記の評価規準に基づき、レポート及び課題等の提出物の状況、スクーリングに取り組む姿勢及びスクーリングに基づく成果、前期・後期2回の試験結果を総合的に判断して、評価を行う。 ○【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に学習に取り組む態度】の3つの観点ごとに、それぞれ上位からA、B、Cの三段階で評価を行い、その観点別評価に基づき、総合的な評価を5段階（最上位を5とし、最下位を1とする）で評価する。							
単位の修得の認定に関する基準							
観点別評価に基づいて総合的に評価された5段階評価のうち、5～2の評価を受けた者に対して、科目に配当された単位数の修得を認める。							